

特殊詐欺被害の未然防止好事例のご紹介(1) (2/15)

関係機関のみなさまに、当課が把握したコンビニエンスストアにおける未然防止事案の好事例について、一部ご紹介をさせていただきます。

【コンビニエンスストア阻止事例】

○ セイコーマートみなみ店の事例(平成29年12月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、電子マネー5万円分を購入しようとしたが、店員の方が声掛けしたところ、「登録料未納のメールが来た」と説明したことから、警察への相談を促した。

また、その直後に犯人から被害者に電話が来たため、店員の方が被害者の娘を装って犯人と電話し、詐欺を見破った。

○ ローソン八雲町立岩店の事例(平成29年12月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、電話しながらロッピーを操作していたことから、店員の方が声掛けしたところ、「アマゾンの支払いです」と説明したことから、詐欺であることを見破り、納得しない被害者を説得し、警察へ通報した。

○ セブンイレブンえりも本町店の事例(平成29年12月)

詐欺のハガキにだまされた被害者が、レジでメモに書いた番号を見せ、「弁護士に振り込みたい」と申し立てていた上、番号を入力すると取引停止となっていた。

また、誰かに電話する様子であったことから、店員の方が不審に思い、警察に通報し、被害を防止した。

○ セブンイレブン旭川近文店の事例(平成29年12月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、レジで「インターネットの支払いをしたい」と申し立てたが、被害者の態度が不安そうであることや金額が高額であることから、店員の方が声掛けしたところ、曖昧な返答を繰り返していたため、詐欺を見破った。

○ ローソン小樽色内3丁目店の事例(平成29年12月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、代行決済で30万円の支払いをしようとしたことから、店員の方が声掛けして手続きを中断し、警察に通報するなどして被害を防止した。

○ セブンイレブン釧路鳥取北5丁目店の事例(平成29年12月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、代行決済で30万円の支払いをしようとしたことから、店員の方が声掛けしたところ、「振り込みしないと法的措置を取られる」「延滞料金があるとメールが送られてきた」などと説明し、さらに、被害者宛に電話がかかってきたことから、店員の方が電話を代わり、詐欺を見破った。

→特殊詐欺被害の未然防止事例のご紹介(2)に続きます

特殊詐欺被害の未然防止好事例のご紹介(2) (2/15)

- **ローソン札幌あいの里2条店の事例(平成29年12月)**
詐欺のメールにだまされた被害者が、電子マネー9万6千円分を購入しようとしたが、店員の方が声掛けしたところ、有料サイトの料金が未納であるというメールが来たことを説明したことから、詐欺を見破り、交番への相談を促し、被害を防止した。
- **セブンイレブンSTサッポロファクトリー店の事例(平成30年1月)**
詐欺のメールにだまされた被害者が、レジで電子マネーを購入する際、アマゾンから未納料金があるとのメールが来たことを説明し、「こういうことってあるんですかね」と尋ねたところ、店員の方が詐欺であることを見破り、警察への相談を促し、被害を防止したもの。
- **セブンイレブンサッポロ発寒11条店の事例(平成30年1月)**
インターネットサイト閲覧中に突然登録画面になり、支払いを要求された被害者が、電子マネー15万円分を購入しようとしたため、店員の方が声掛けしたが「物を買った支払いだ」と説明し、本当の理由を説明しなかった。その後も、店員の方がオーナーに連絡するなどして、再度聴取したところ、「パソコンが固まって動かなくなったので、画面に出てきた番号に電話したらお金を支払うように言われた。」と説明したことから、詐欺を見破った。
- **セブンイレブン札幌新琴似1条店の事例(平成30年1月)**
詐欺のメールにだまされた被害者が、代行決済で支払いをしようとしたが、店員の方が年齢や代行決済に不慣れであることを不審に感じ、声掛けしたところ、アマゾンから有料動画の未納料金があるとメールが来たことを説明したことから、詐欺を見破った。
- **セブンイレブン札幌曙2条店の事例(平成30年1月)**
詐欺のメールにだまされた被害者が、ATMで振り込みをしようとしたが、操作方法がわからず店員の方に聞いてきたため、店員の方が不審に感じ、振り込み理由を尋ねたところ、有料動画の未納料金があるとメールが来たなどと説明したことから、詐欺であることを見破った。
- **セブンイレブン中標津バイパス店の事例(平成30年1月)**
詐欺のメールにだまされた被害者が、代行決済で10万円の支払いをしようとしたが、メモを持ち、代行決済に不慣れな様子であったことから、店員の方が声掛けしたところ、有料動画の未納料金が発生している、本日中に連絡がない場合は法的手続きを取るなどとメールが来たことから、詐欺を見破った。

電子マネーや代行決済などを悪用した手口が多発するなか、コンビニエンスストアのみならずには、多数の詐欺被害を防止していただいています。犯人の手口が多種・多様になっていき、いろいろをご負担をおかけしていますが、今後とも特殊詐欺被害防止にご協力をお願いします。

特殊詐欺被害の未然防止好事例のご紹介(2/15)

関係機関のみなさまに、当課が把握した**金融機関**における未然防止事案の好事例について、一部ご紹介をさせていただきます。

【金融機関阻止事例】

○ 札幌北24条郵便局の事例(平成29年11月)

息子を装うオレオレ詐欺の電話にだまされた被害者が、窓口で高額現金を引き出そうとしたため、職員の方が声掛けし、使用目的を尋ねたところ、「息子から、のどにポリープができた、病院でカバンを盗まれた、お金を貸してほしい」と電話が来た。」と説明したことから、詐欺を見破った。

○ 北星信用金庫本店の事例(平成29年12月)

甥っ子を装った詐欺の電話にだまされた被害者が、窓口で職員の方に対し「甥っ子に100万円を貸す」などと言い、**積立金25万円を解約した後**、さらに**普通口座80万円**を引き出そうとしたため、職員の方が声掛けし、店長に引き継ぎをして警察への通報を行い、被害を防止した。

○ 美園郵便局の事例(平成29年12月)

融資保証をする旨の詐欺のFAXを受け取った被害者が、窓口で振込をしようとしたが、職員の方が**振込先が個人口座**であることを不審に感じて声掛けし、詐欺を見破った。

○ 北海道銀行新さっぽろ支店の事例(平成29年12月)

区役所を装った還付金詐欺の電話にだまされた被害者は、還付金を受け取りに道銀新さっぽろ支店に来店したが、犯人から「銀行についたらヨコヤマに電話してほしい」と言われていたため、窓口で「ヨコヤマ」という職員を訪ねたが、**応対し事情を聞いた職員の方が還付金詐欺**であることを見破った。

○ 大樹郵便局の事例(平成30年1月)

ギャンブル必勝情報を提供する旨の詐欺にだまされた被害者が、窓口でお金を振り込もうとしたが、被害者が申し出た振込先が**登録のない口座番号**であり、さらに、被害者が持っていた封筒に「梁山泊」「一撃で「5万発」以上」などと書かれていたことから不審に思い、本社に確認したところ、ネット上で詐欺であるとの情報が流れていることがわかり、詐欺であることを見破った。

様々な手口の詐欺がある中、金融機関職員のみなさまの声掛け、対応により、被害を未然に防止していただいています。

中には、少額であっても不審点を見逃さずお声かけいただいている事案もあります。

今後とも特殊詐欺被害防止にご協力をお願いします。